

## 5. 現況把握

### (1) 大館市の現況把握

#### ①風土

##### イ. 位置

大館市は、秋田県北東部出羽山地を縫って流れる米代川と長木川の清流沿いに開けた大館盆地の中核である。北緯 40 度 16 分、東経 140 度 34 分に位置し、秋田、青森、岩手の北東北三県を結ぶ交通の要衝の地であり、古くから人々が定着し、縄文時代早期の遺跡が残っている。市域面積は、913.70 平方キロメートルである。

##### ロ. 気候

年を通じて降水量の多い湿潤気候に区分される。また、内陸盆地であるため、気温の日較差、年較差が大きいのが特徴である。寒候期は、日本海の暖流上を吹送する大陸からの冷たい季節風の影響で雪が降りやすく、12-3 月は積雪状態が継続し、市街地でも積雪の深さは 50cm を超える。

##### ハ. 市域の変遷

明治 22 年 (1889 年) 町制を施行、鉾石と秋田杉の美林に恵まれ、県北部の政治、経済、文化の中心都市として大館は発展。昭和 26 年 (1951 年) 4 月 1 日、大館町と釈迦内村が合併し、大館市が誕生した。さらに昭和 30 年 (1955 年) 3 月 1 日には、5 村 (長木村、上川沿村、下川沿村、真中村、二井田村) を編入、同年 3 月 31 日には、十二所町を編入、昭和 42 年 12 月 21 日には花矢町を編入した。平成 17 年 (2005 年) 6 月 20 日には、比内町、田代町を編入し、現在の市域を形成するに至る。

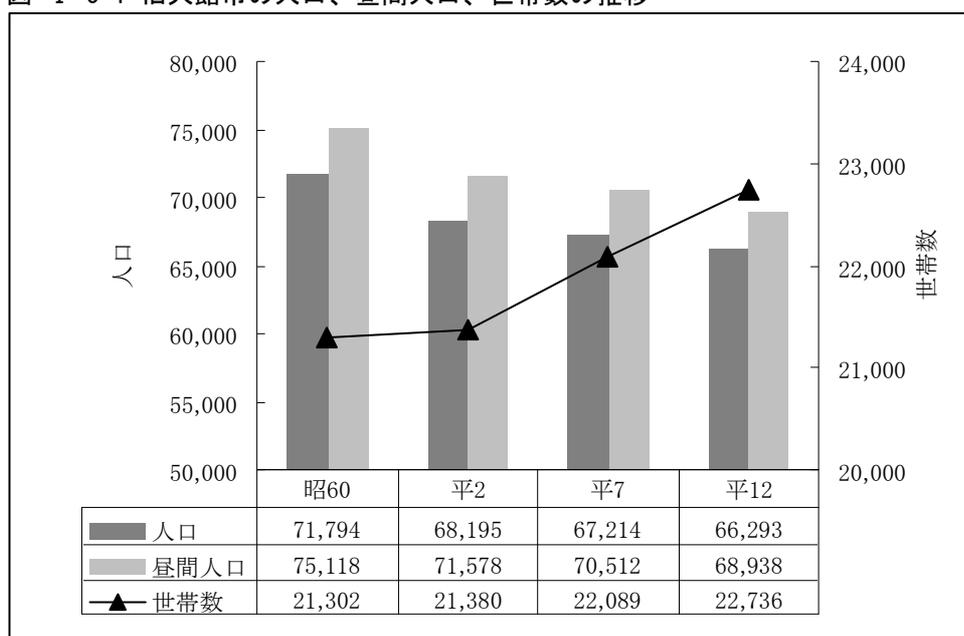
自然環境に恵まれ、あきた北空港 (大館能代空港) や日本海沿岸東北自動車道などの高速交通体系の整備が進んでいる。

## ②人口

大館市の人口は、昭和 35 年をピークに、その後減少傾向にあり、昼間人口も同様の傾向がある。平成 17 年 10 月現在の合併後の大館市の人口は、82,507 人となっている。世帯数は平成 2 年以降増加しており単身世帯の増加が伺える。

中心市街地の人口は年々減少しており、長木川以北より長木川以南の人口減少が大きい。

図 I-5-1 旧大館市の人口、昼間人口、世帯数の推移



資料：国勢調査

表 I-5-1 人口推移

	S55	H2	H12	H16
大町（1区+2区）	286	223	123	101
中町	131	97	70	64
馬喰町	127	98	73	65
新町	282	259	184	175
中心市街地のうち長木側以南	5954	4692	3535	3236

資料：住民基本台帳

	H2	H7	H12	H17
大館市	90,098	88,231	86,288	82,507
秋田県	1,227,478	1,213,667	1,189,279	1,145,471

大館市人口は平成 18 年 3 月末時点の現在市域による（合併町人口含む）

資料：国勢調査

平成 16 年 7 月現在の旧大館市の高齢化率は 26.9%となっており、5 年前より 4.1 ポイント上昇している。

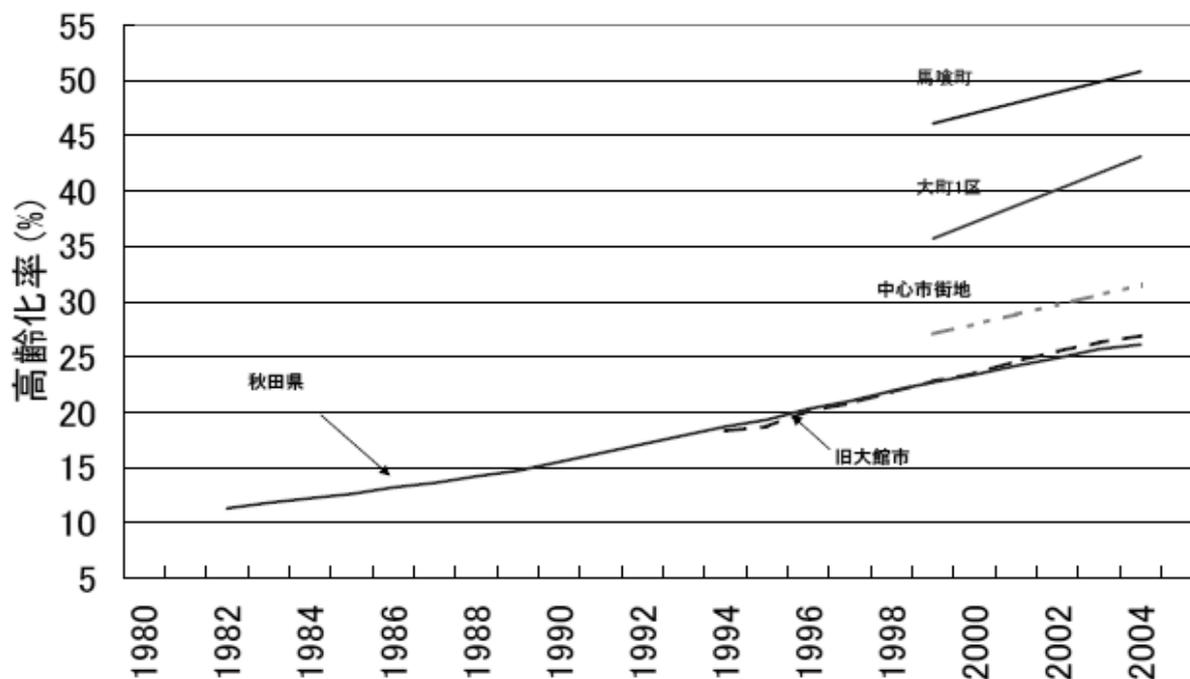
中心市街地のうち長木川以南の高齢化率は 33.7%と全市より高く、特に馬喰町は 50.8%、大町 1 区は 43.1%と高齢化が著しく、大館の顔として再生する地区として多世代が住み暮らせる環境づくりが必要である。

表 I-5-2 高齢化率

	H11.9	H16.7
大町 1 区	35.7%	43.1%
大町 2 区	29.3%	25.0%
中町	32.4%	38.2%
馬喰町	46.1%	50.8%
新町	29.3%	27.6%
中心市街地のうち長木川以南	28.8%	33.7%
旧大館市	22.8%	26.9%
秋田県	22.7%	26.2%

出典：住民基本台帳

図 I-5-2 高齢化率の推移



参考：住民基本台帳

大館市長寿支援課資料

### ③住宅需要

大館市の新設住宅着工戸数はバブル崩壊以降に一時期上がっているが、近年は減少している。

表 I-5-3 新設着工住宅戸数

	H2	H7	H12	H14
大館市	584	909	454	381
秋田市	5,222	4,013	3,814	3,383
北秋田市	246	263	252	143
能代市	436	451	347	401
弘前市	2,840	1,830	1,906	1,681
青森市	4,295	4,131	2,994	3,098
盛岡市	5,246	3,892	3,139	3,140

※平成 18 年 3 月末時点の現在市域による（合併町含む）

資料：国土交通省「建設統計月報」

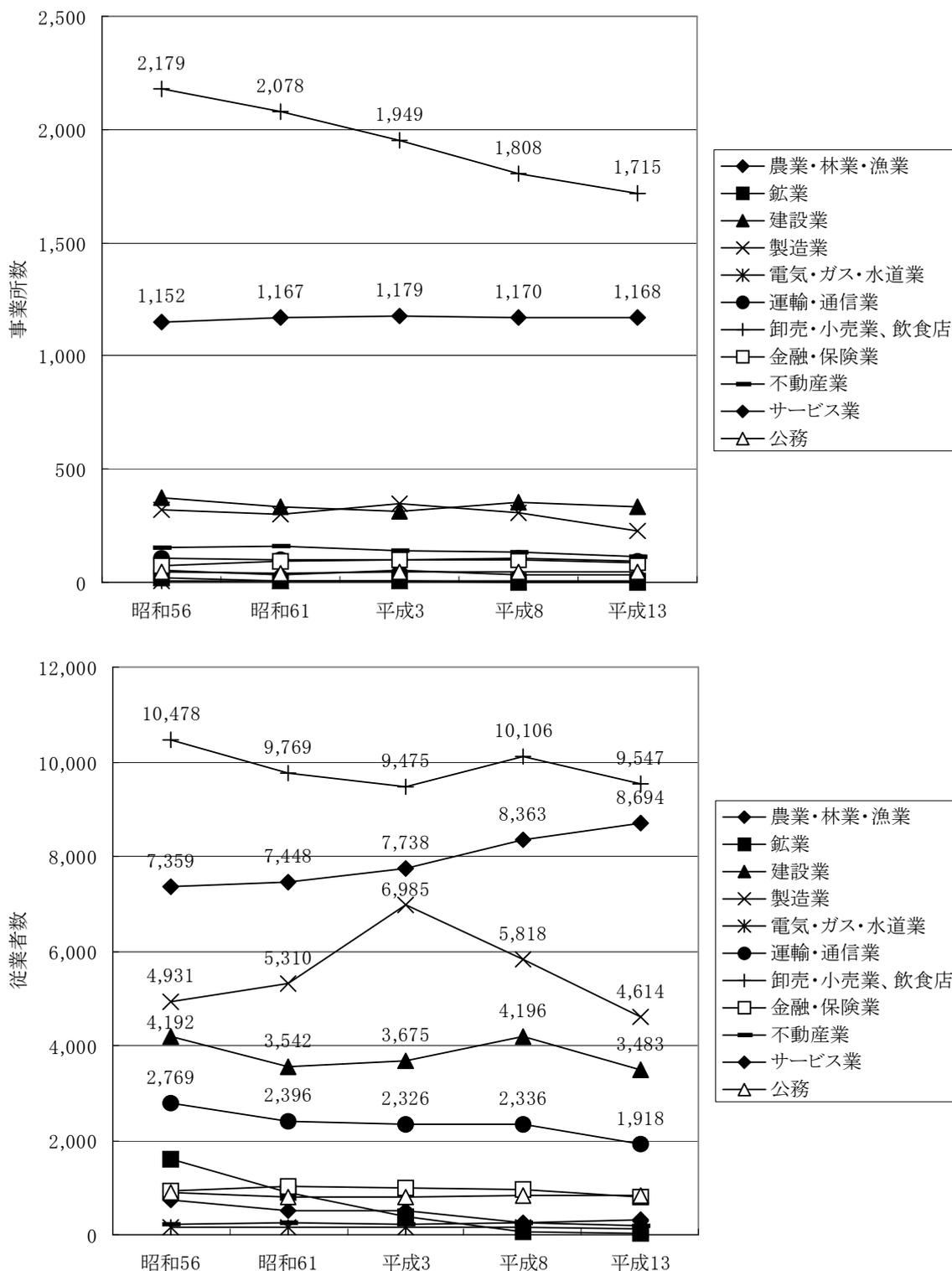
表 I-5-4 建築確認申請件数

年度	計	一戸建ての住宅				その他の 4号建物	共同住宅		その他の 特殊建物
		新築	改築	増築	付属建物		件数	戸数	
7	909	279	126	137	130	86	46	365	105
8	936	324	113	138	141	84	36	215	100
9	761	236	92	125	130	70	27	189	81
10	640	198	82	109	94	62	14	93	81
11	587	204	91	94	78	48	8	50	64
12	504	143	88	65	74	67	6	34	61
13	556	176	78	74	90	61	17	107	60
14	495	126	51	77	90	60	7	36	84

#### ④産業

産業別事業所数をみると、「卸売・小売業、飲食店」が減少傾向にあるが、従業者数はほぼ横ばいである。また、「サービス業」をみると、事業所数は横ばいだが、従業者数は増加傾向にある。これは大型店の出店により個店が衰退したものと考えられる。

図 I-5-3 旧大館市の産業別事業所数、従業者数の推移

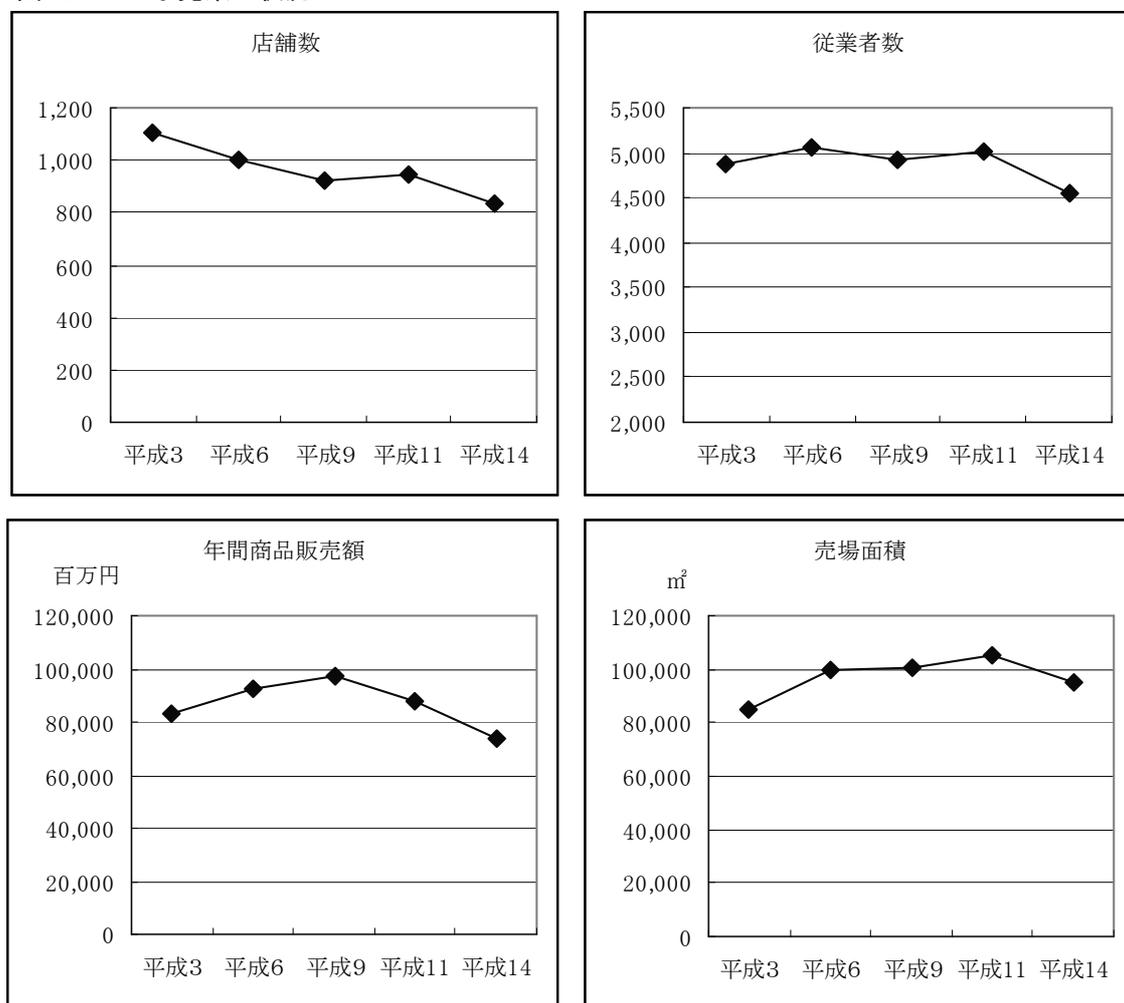


## ⑤商業

### イ. 小売業の状況

旧大館市の小売業の状況は、店舗数、従業者数、年間商品販売額、売場面積ともに平成11年から平成14年で減少している。平成13年7月に大町商店街に立地していた老舗デパートの倒産とそれに伴う周辺店舗の閉店が影響していると考えられる。反面、郊外では「ロ. 大規模小売店舗の状況」で示すように大規模小売店舗が増加しており、大館市の商業が相対的に大型店、郊外店に比重が移り、中心市街地商業が衰退している状況にあることがわかる。

図 I-5-4 小売業の状況



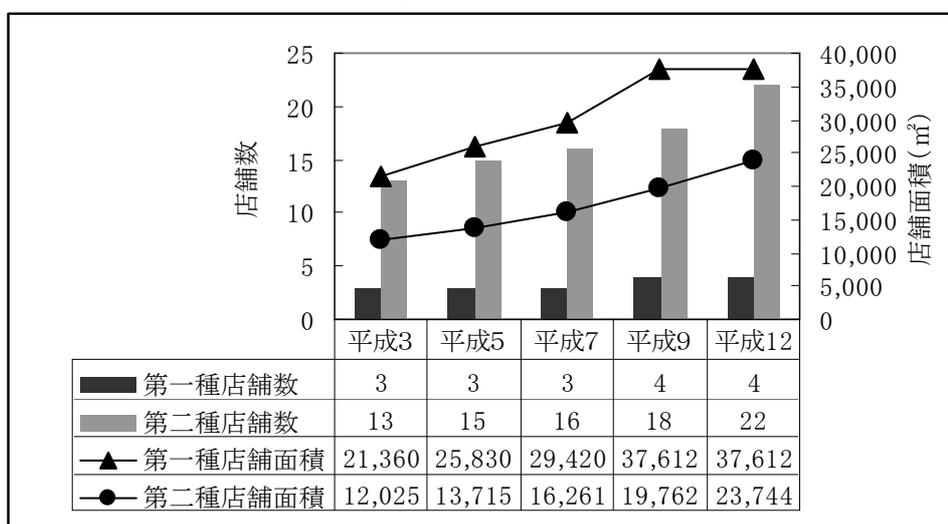
参考：商業統計調査

## ロ. 大規模小売店舗の状況

旧大館市の第一種大規模小売店舗（3,000 m<sup>2</sup>以上）と第二種大規模小売店舗（500～3,000 m<sup>2</sup>）の店舗状況を示す。

大館市は中心市街地を取り囲むように東西南北の幹線道路沿いに大規模小売店舗が立地している状況であり、店舗面積 3,000 m<sup>2</sup>未満のいわゆるロードサイドショップが多いことが特徴である。さらに、平成 17 年 10 月 19 日にいとくが大館樹海モール（店舗面積 10,758.95 m<sup>2</sup>）をオープンし、隣接した敷地にはイオンが同規模のショッピングモールを建設中である。

図 I-5-5 旧大館市の大規模小売店舗の推移



参考—平成 14 年 大規模小売店舗数（1,000 m<sup>2</sup>以上）：14 店舗

店舗面積（ " ）：48,565 m<sup>2</sup>

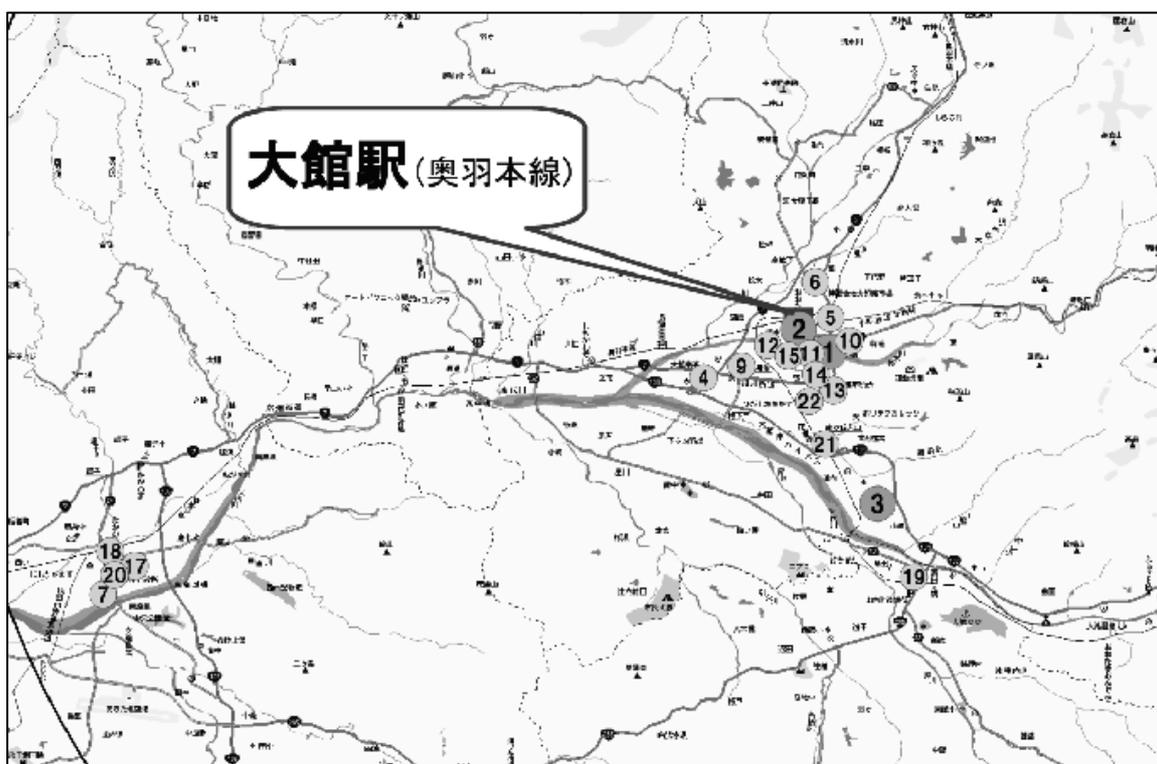
資料：東洋経済新報社「地域経済総覧」

表 I-5-5 大規模小売店舗の立地状況

	店舗名	店舗面積	業態	店舗住所 秋田県
1	いとく大館ショッピングセンター	12,059㎡	スーパー	大館市御成町3-71-32
2	ジャスコ大館店	10,499㎡	スーパー	大館市御成町3-1-1
3	マックスバリュ大館南店	10,099㎡	スーパー	大館市鯉釣字前田200番地
4	マックスバリュ大館西店	8,205㎡	スーパー	大館市根下戸新町214-1
5	北秋ホームセンタージャンボグリーン	2,499㎡	ホームセンター	大館市御成町1-6-5
6	マックスバリュ釈迦内店	2,311㎡	スーパー	大館市釈迦内字稲荷山下294
7	いとく鹿巣南店	2,301㎡	スーパー	北秋田市米代町5-13
8	ユニバース毛馬内店	2,012㎡	スーパー	鹿角市十和田毛馬内字中陣場101
9	いとく片山店	1,995㎡	食品スーパー	大館市片山町2-4-1
10	スーパードラッグアサヒ大館店	1,868㎡	専門店	大館市有浦2-1-20
11	サンデー大館店	1,585㎡	ホームセンター	大館市中道2-102-1
12	スーパーデパート大館店	1,470㎡	専門店	大館市清水2-2-70
13	いとく長倉町店	1,384㎡	スーパー	大館市長倉112
14	ホームセンターヤマキ大館店	1,360㎡	ホームセンター	大館市御成町4-32-11
15	住まいのキノシタ	1,294㎡	専門店	大館市中道2-2-40
16	マックスバリュ小坂店	1,280㎡	スーパー	鹿角郡小坂町小坂鉾山字栗平25-1
17	北秋プラザ	1,195㎡	寄合百貨店	北秋田市花園町2-32
18	マイカル東北鹿巣店	1,185㎡	スーパー	北秋田市松葉町6-18
19	ベル比内店	1,165㎡	スーパー	北秋田郡比内町扇田伊勢道岱117
20	高坂呉服店	1,047㎡	専門店	北秋田市住吉町9-17
21	ホームプラザ本庄家具	1,022㎡	専門店	大館市小館花字萩野台6-44
22	まるや	1,014㎡	専門店	大館市大町53

資料：東洋経済「全国大型小売店総覧」

図 I-5-6 大規模小売店舗の分布状況

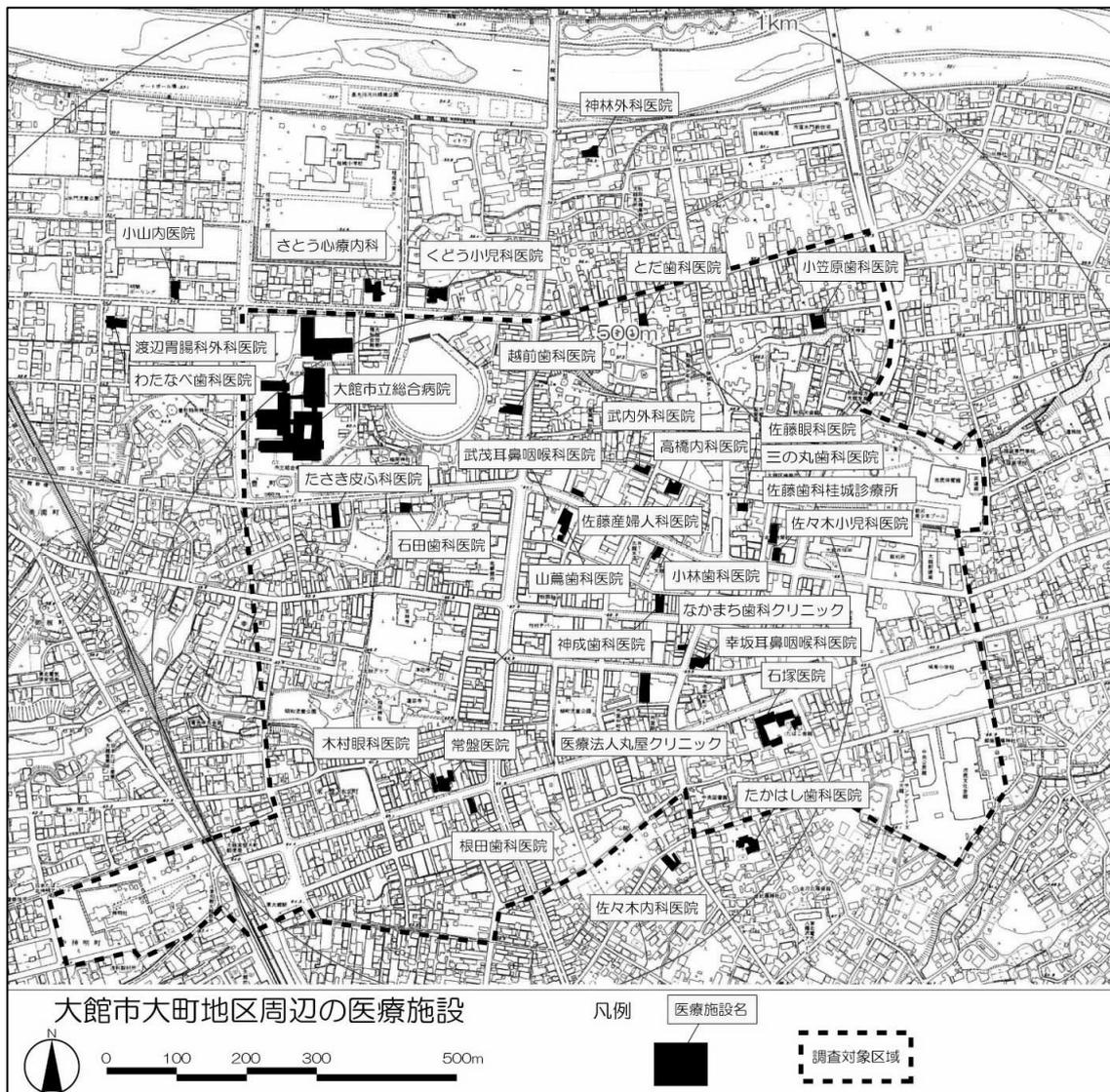


資料：東洋経済「全国大型小売店総覧」

## ⑥医療・福祉

大館市の中心部には市立総合病院があり、また各科の医療施設も中心市街地に所在している。

図 I-5-7 医療施設分布図



資料：WAM NET（ワムネット）HP  
 タウンページ

表 I-5-6  
市立総合病院  
利用状況

区 分		平成7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
病 床 数		505	505	505	505	497	497	497	497
患 者 数 (人)	外 来 1 日 平 均	1,721	1,787	1,784	1,745	1,703	1,629	1,590	1,499
	年 計	423,299	437,847	437,071	427,417	415,489	398,993	389,563	367,184
入 院	1 日 平 均	463	468	458	443	445	441	440	435
	年 計	169,387	170,811	167,141	161,798	162,977	161,065	160,490	158,706
診 療 収 入	外 来 患 者 1 人 1 日 平 均 (円)	5,046	5,286	5,405	5,161	5,152	5,135	5,258	5,282
	年 計 (千円)	2,135,781	2,314,566	2,362,260	2,205,896	2,140,449	2,048,943	2,048,311	1,939,521
	入 院 患 者 1 人 1 日 平 均 (円)	24,363	24,565	25,104	25,744	26,345	27,465	26,775	26,945
	年 計 (千円)	4,126,817	4,196,015	4,195,934	4,165,407	4,293,635	4,423,597	4,297,066	4,276,291
年 合 計 (千円)		6,262,598	6,510,581	6,558,194	6,371,303	6,434,084	6,472,540	6,345,377	6,215,812
医 業 収 益 ① (千円)		6,479,607	6,734,681	6,785,609	6,613,128	6,673,898	6,733,472	6,600,337	6,469,235
医 業 費 用 ② (千円)		6,523,272	6,697,164	6,700,187	6,710,475	6,690,576	6,755,840	6,695,588	6,775,177
差 引 (①-②)(千円)		△ 43,665	37,517	85,422	△ 97,347	△ 16,678	△ 22,368	△ 95,251	△ 305,942

各年3月31日現在

表 I-5-7  
医療施設数

年	施 設 数			病 床 数	
	病 院	診 療 所	歯 科	病 院	診 療 所
平成6年	6	37	27	1,333	348
7年	6	37	27	1,333	342
8年	6	39	29	1,333	319
9年	6	41	30	1,329	331
10年	6	45	30	1,329	296
11年	6	45	30	1,329	296
12年	6	45	28	1,321	245
13年	6	46	28	1,321	226
14年	6	47	26	1,308	205

資料：北秋田地域振興局大館福祉環境部

表 I-5-8 社会福祉施設

施 設 名	定 員 (人)	開 設 年 月 日
白 百 合 ホ ー ム	20世帯	昭和41年8月15日
大館市養護老人ホーム「成章園」	80	42年4月1日
松 峰 児 童 館		44年2月1日
山 館 児 童 館		44年2月1日
天 下 町 児 童 館		45年1月1日
大 滝 児 童 館		46年4月1日
道 目 木 更 生 園	100	49年12月1日
特別養護老人ホーム「水交苑」	80	51年7月1日
老人いこいの家「清和荘」	200	54年12月1日
軽 井 沢 福 祉 園	80	55年5月1日
桂 城 児 童 セ ン タ ー	100	56年12月1日
身 体 障 害 者 福 祉 セ ン タ ー	50	57年4月1日
矢 立 青 成 園	50	57年10月1日
特別養護老人ホーム「神山荘」	55	61年8月1日
白 沢 ミ ニ 通 所 セ ン タ ー	20	62年4月1日
老 人 福 祉 セ ン タ ー	80	62年12月1日
釈 迦 内 児 童 セ ン タ ー	70	63年4月1日
ひ ま わ り 園	20	平成2年4月1日
ひ ば り 共 同 作 業 所	10	2年5月3日
デイサービスセンター「のぎく」		3年12月16日
総 合 福 祉 セ ン タ ー		4年6月29日
デイサービスセンター「かつら」		4年8月24日
デイサービスセンター「かみやま」		5年12月1日
大館市特別養護老人ホーム「つくし苑」	100	11年1月29日
大館市ケアハウス「ほうおう」	50	11年1月29日
大館市ふれあいセンター「やまびこ」		11年4月1日
大館市デイサービスセンター「大滝」		11年4月12日
白 沢 通 園 セ ン タ ー	55	11年10月1日
デイサービスセンター「おおだて」		12年9月11日
アイリスケアセンター「大館」		13年10月9日
工 房 J O Y さ あ く る	8	14年5月1日
城 西 児 童 セ ン タ ー		15年8月1日

## ⑦施設状況

### イ. 市民文化会館

市民文化会館は平成14年度調査では年間の利用日数307日、利用人員125,915人(約410人/日)と高い稼働率となっている。

表 I-5-9 市民文化会館の施設概要

	客席数 (定員)	規模				付属施設	
		間口	奥行	高さ	大きさ	楽屋	効果室
大ホール	1,198席	18m	16.5m	8.5m		第1楽屋 定員:5名 第2楽屋 定員:10名 第3楽屋 定員:10名 主催者控室 楽屋事務室 シャワー室	大ホール音響卓 YAMAHA PMD1 大ホール照明卓 丸茂プリティナA型 ○音響卓:デジタル卓 ○照明卓:シーン記憶500プリセットフェーダー80本×3段
中ホール	414席	9m	9m	5m		第4楽屋 定員:5名 第5楽屋 定員:10名 楽屋事務室	中ホール音響卓 YAMAHA PM3500 中ホール照明卓 丸茂プリティナB型 ○音響卓:音声調整卓入力32ch 8プログラム ○照明卓:シーン記憶250プリセットフェーダー48本×3段
展示室					約65坪		
第1会議室	20名						
第2会議室 (和室)	36名						
第1練習室	24名						
第2練習室	24名						
第3練習室	36名						
リハーサル室							
CDライブラリー							

表 I-5-10 平成17年度に開催された主なイベント

イベント名	開催期間	会場			入場料
		大ホール	中ホール	展示室	
映画「世界の中心で愛をさげぶ」 「いま、会いにゆきます」	4月3日(日)	○			※当日のみ 一般1,400円 高校・大学1,000円 2才～中学1,000円 シルバー1,000円(割引券200円引)
杉田あきひろ“ふれあい”コンサート	4月23日(土)		○		全席指定:2,300円 ※1歳以上有料
HAPPY PARADE2005「グランディンババ」	6月24日(金)	○			S席 7,500円、A席 6,500円 立見 5,500円
ふれあいコンサート 吉田恭子&フレン	7月2日(土)		○		全席自由 一般 2,000円、高校生以下 1,000円
東京都交響楽団	8月6日(土)	○			全席自由 一般 3,000円、高校生以下 1,500円 ※未就学児入場不可
第8回ピアノマラソン	7月31日(日)	○			
廃校の校歌復活イベント「夏草の詩」	8月12日(金)	○			400円
小山実稚恵ピアノリサイタル～オールショパン・プログラム～	9月7日(水)	○			全席自由 一般 3,000円、高校生以下 1,000円 ※未就学児は入場不可
天羽明恵・鈴木大介デュオコンサート	9月25日(日)	○			全席指定 一般 1,500円 高校生以下800円 ※未就学児の入場不可
f-deの会 ～展示とワークショップ～	10月6日(木)～10日(月)			○	
カネマキ・コア コンサート	10月7日(金)	○			
エンリケ・クッティーニ楽団「タンゴ・エモーション」	11月6日(日)	○			全席指定 S席 4,000円、A席 3,000円 ※3歳以下のお子様は入場不可
藤原真理子ピアノリサイタル「白鳥」	12月11日(日)		○		一般 2,000円、高校生以下 1,000円(当日各500円増) ※未就学児の入場不可
ピアノマラソン Vol.9	12月25日(日)	○			無料
東儀秀樹新春コンサート ～天平彩華～	1月9日(月・祝)	○			全席指定 S席 7,000円、A席 6,000円(当日各500円増) ※未就学児の入場不可

資料：市民文化会館HP

### ロ. 中央公民館

中央公民館は平成14年度調査では年間の利用日数347日、利用人員151,518人(約437人/日)と高い稼働率となっている。

### ハ. 中央図書館

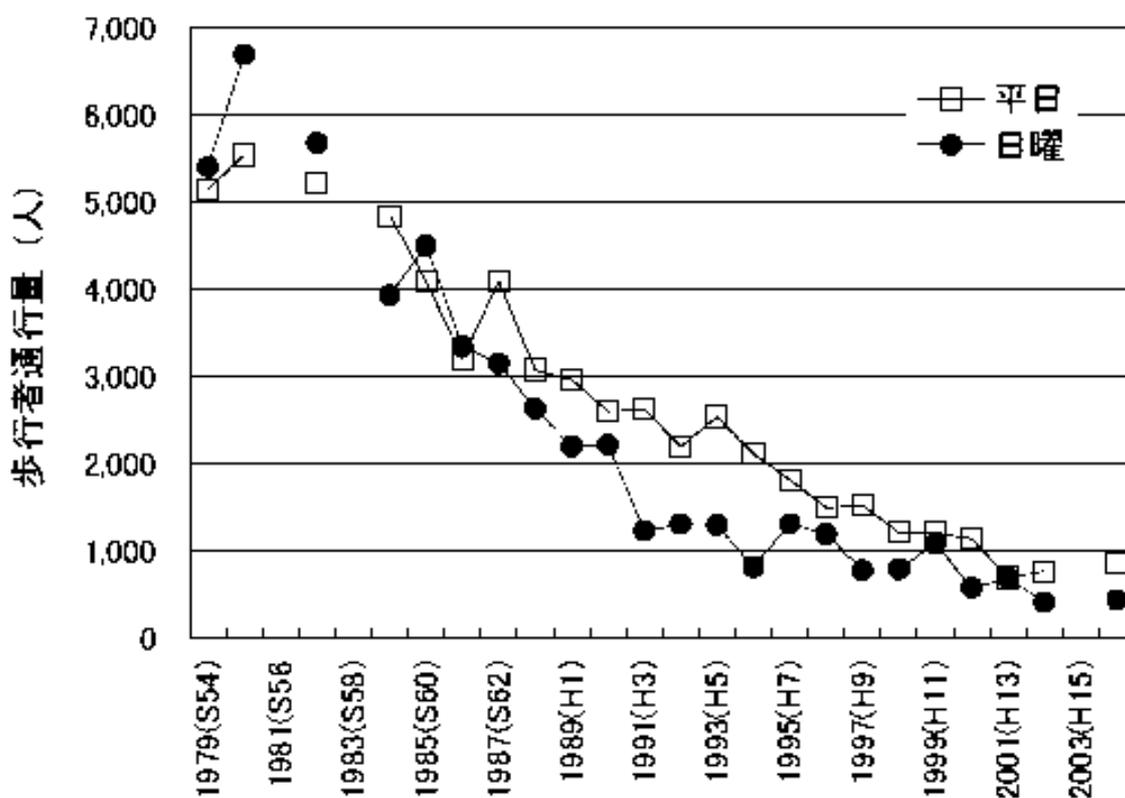
中央図書館の蔵書数は平成15年3月末日時点では113,289冊で、旧大館市内の蔵書数の約65%を占めている。

### ⑧歩行者通行量

毎年10月に行う歩行者通行量調査の大町商店街の富士タクシー前の結果を下図に示す。グラフの数値は田町方面と新町方面に歩く人の合計である。

この四半世紀は平日、日曜日ともに減少しており、特に日曜日の歩行者通行量の減少が著しい結果となっている。平成13年以降は平日、日曜日とも1,000人を下回っている状況にあり、老舗デパートの倒産の影響が大きいとともに、それに伴う空き店舗の増加、郊外型大型店舗の24時間営業化、コンビニの増加などが影響していると考えられる。

図 I-5-8 歩行者通行量（富士タクシー前）



資料：大館商工会議所「大館市内商店街通行量調査報告書」(H5、H11、H14)

大館会議所ニュース (H16)「大館市内通行量調査」

対象時間帯：平日、休日とも10:00～18:00

## ⑨観光

大館市の観光客数は平成13年までは順調に増加していたが、近年は減少傾向にある。平成16年度の観光客数で10万人以上の行事は、アメッコ市が約24万人と多く、次いで大文字まつりの約15万人、神明社祭典の約13万人となっている。その他に数万人規模であるが、きりたんぼまつり、桜まつり、バラまつり等がある。

県内で見ると、秋田県全体の観光客数は増加傾向にあり、竿灯まつりの秋田市、桜まつりの角館市も増加している。

表 I-5-11 観光客数の推移

(単位:千人)

	H12	H13	H14	H15	H16
大館市	2,333	2,861	1,911	1,952	1,772
秋田市	5,427	5,501	5,390	5,631	6,223
鹿角市	2,616	2,468	2,655	2,703	2,486
角館市	2,407	2,402	2,272	2,585	2,437
秋田県全体	43,837	44,398	44,161	45,110	44,983

参考：秋田県観光統計

表 I-5-12 宿泊客数の推移

(単位:千人)

	H12	H13	H14	H15	H16
大館市	205	187	176	166	167
秋田市	1,200	1,239	1,180	1,172	1,145
鹿角市	378	374	365	360	333
秋田県全体	4,319	4,280	4,208	4,215	4,093

参考：秋田県観光統計

表 I-5-13 大館市の祭り

名前	日程(平成17年)	内容	平成16年度 観光客数
ジャジャンコ祭り	4月3日	正しくは鎮火祭といい、幕末に起きた大火を機に始まった扇田神明社の火伏せ祭り。神主が家々の門口でお祓いをし、塩をまいて邪を払い、最後は水を柄杓に汲み屋根を掛けて安全を祈願する。	—
大館桜まつり	4月23日～5月4日		61,000人
おおだて春の市日まつり	5月27日	通常「7」の付く日に開催されている「七都市日(なのかいちび)」の「おまつり」として、春秋各1回規模を大きくして開催するものである。まつり当日は旬の山菜・野菜・花などを販売する露店のほか、お買い上げ額に応じた抽選会、フリーマーケットなどがある。	17,000人
たけのご祭り	6月上旬	田代町の山々から山菜の便りが届くころ、町の特産である「タケノコ」をPRし、存分に味わってもらおうと開かれるもの。たけのごダーツゲームや、カラオケなどゲーム等を開催する。	6,000人
バラまつり	6月11日～6月26日	初夏の訪れを感じさせる大館バラまつりの会場となる石田ローズガーデンは、大館市初の名誉市民である故石田博英氏の私庭であったが遺族から大館市へバラが寄贈され、平成7年7月1日から市で管理することになった。面積は約2,343㎡の石田ローズガーデンには1種1本を基本としたサンプルガーデンとして、600種類700株の様々なバラが植栽され、バラの歴史などを比較的短時間で楽しみ、学ぶことができるようになっている。バラまつりの期間中は会場で、バラの苗木の販売やバラのコンテストも行われる。	30,000人
大日神社例祭・独結ばやし	旧5月28日	「独結ばやし」は、甲斐国からこの地に移り、独結城を築いた浅利則頼が祝宴で自ら舞ったことに由来する。「寄せばやし」「本ばやし」「剣ばやし」「掃り山車」の4種類が伝えられており、大日神社の例祭では保存会によって銀扇も鮮やかな手踊りが披露される。	—
中野七夕	8月13日	手作りの絵灯ろうを秋田市の竿灯風に組み上げ、大太鼓の響きにのせて巡る七夕行事。戦国末期、浅利勝頼の築城を祝って始まったと伝えられている。	—
大文字まつり	8月16日	大館大文字まつりは毎年8月16日に行われる大館市の夏の風物詩。日中は市内の目抜き通りを舞台に浴衣姿の人たちによる大館大文字踊りと勇壮なぶっかけ神輿が行われ、まつり気分を盛り上げる。陽が傾き、夜になると市内を流れる長木川では花火大会や燈籠流しが行われる。また、それと同時に市の東に位置する鳳凰山に大の火文字が浮かび上がり先祖の供養と大館市のますますの発展を祈願する。	150,000人
扇田盆踊り(ハッタギ踊り)	8月17日・18日	一種独特の振りをもつ踊りで、バツが飛び跳ねる様子に似ていることから「ハッタギ踊り」と呼ばれている。	—
大鮎の里 ふるさと祭り	8月20日	町商工会が中心となってふるさとへの帰省者らとともに、盆踊りや打ち上げ花火などを楽しむ恒例の夏祭り「大鮎の里ふるさと祭り」が毎年8月中旬に開催される。	1,500人
大館神明社祭典	9月10日・11日	「雨祭り」の異名のある神明社祭典であり、子供みこしから町内の役員、踊り方・囃子方を乗せた豪華な曳き山車まで、大小30弱のみこし、山車が各町内を巡行する。	130,000人
五色湖まつり	10月9日	山瀬ダム(五色湖)が完成したのを契機に、五色湖周辺の恵まれた自然に町民が接するとともに、田代町を内外にアピールするため、毎年紅葉の始まりのイベントとして開催される。	中止
本場おおだてきりたんぼまつり	10月8日・9日	獲したばかりの新米でつくった「きりたんぼ」は本場ならではの郷土料理である。本場大館きりたんぼまつりでは、きりたんぼと比内地鶏スープでつくられた「きりたんぼ鍋」や味噌を付けた「味噌付けたんぼ」など、大館が全国に誇るこのきりたんぼ料理を手軽に賞味でき、会期中はフリーマーケットなどの催しものもある。	中止
おおだて秋の市日まつり	10月7日	このイベントは、通常「7」の付く日に開催されている「七都市日(なのかいちび)」の「おまつり」として、春秋各1回規模を大きくして開催するものである。まつり当日は旬のキノコ・野菜・果実などを販売する露店のほか、お買い上げ額に応じたお楽しみ抽選会、フリーマーケット、屋台などがある。	18,000人
比内とりの市	1月28日・29日	比内地域のシンボル「比内鶏」をモチーフとした祭りである。郷土芸能の披露、人間が発するコケコッコという声の長さを競う「人間比内鶏永唱大会」、比内鶏のレースを予想して鶏肉をもらう「比内鶏ダービー」、ダイナミックな「比内鶏千羽焼き」など、地域の特色あふれるイベントが行われる。	55,000人
アメッコ市	2月11日・12日	『この日にアメを食べると風邪をひかない』と伝えられるアメッコ市の起源は、天正16年(1588年)です。当時は民俗行事でしたが長年行われ続け、昭和47年から現在のように大館市の大町中央通りで開催されるようになった。大館市の近くの山から神様がアメを買いにやってくるという言い伝えを再現した「白髭大神巡行」や「秋田犬パレード」をはじめとした様々なイベントが両日行われる。また、会場には枝アメや細工アメなどを販売する露店が100店以上立ち並び、そのアメを求めて県内外から約20万人もの観光客が訪れる。	240,000人

## ⑩地価

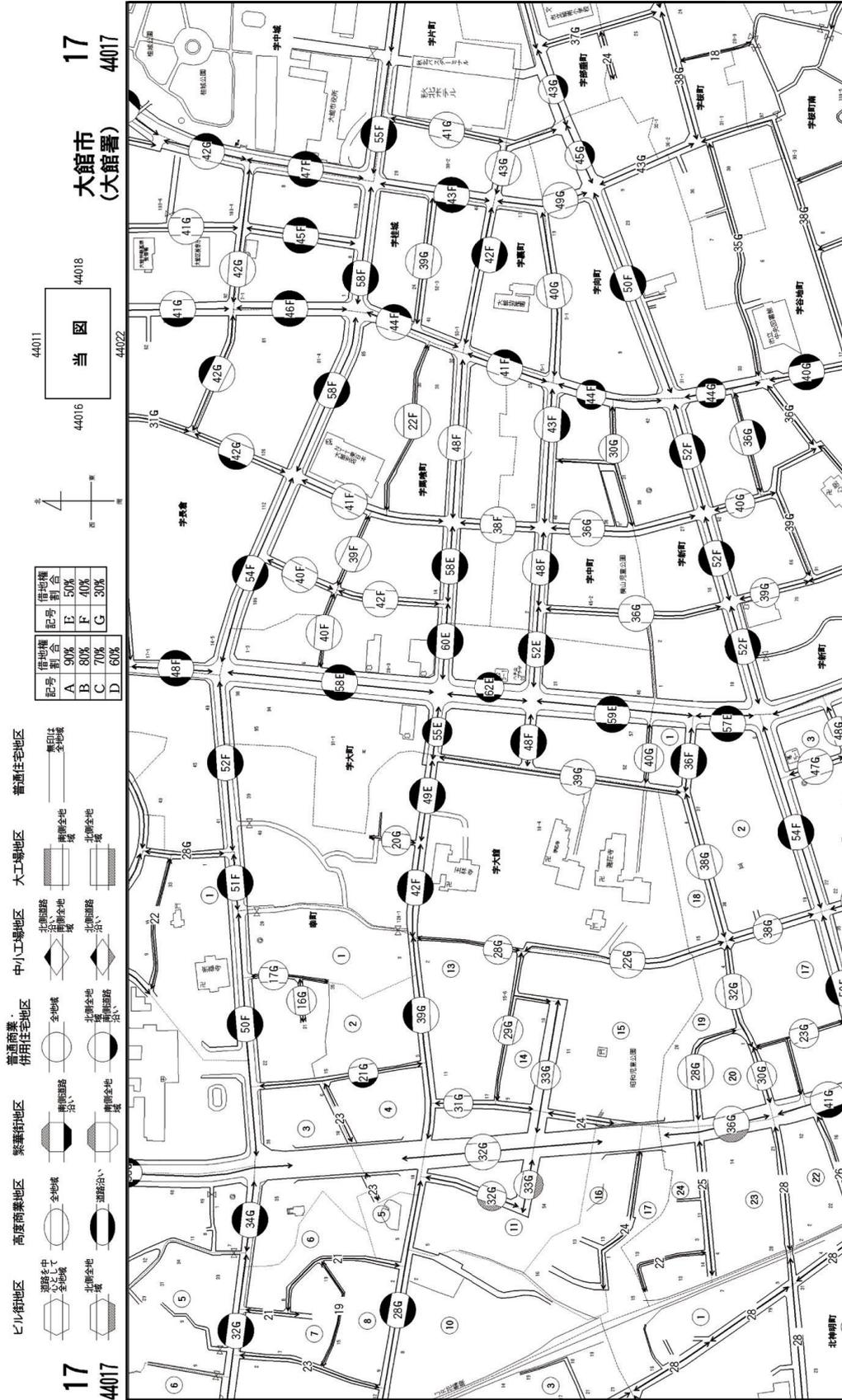
大町商店街に面した旧正札竹村付近（大町5-1）の標準地地価の推移を見ると、平成7年の21.9万円/㎡から平成17年の7.5万円/㎡までで約3分の1に下落している。しかし、大町地区とその周辺の中では旧正札竹村の周辺が一番高い地価を維持している。

表 I-5-14 標準地地価の推移（標準地番号：大町5-1）

平成7年	219,000円/㎡	前年度比	94.8
平成8年	205,000円/㎡		93.6
平成9年	215,000円/㎡		104.9
平成10年	210,000円/㎡		97.7
平成11年	201,000円/㎡		95.7
平成12年	191,000円/㎡		95.0
平成13年	172,000円/㎡		90.1
平成14年	135,000円/㎡		78.5
平成15年	110,000円/㎡		81.5
平成16年	88,000円/㎡		80.0
平成17年	75,000円/㎡		85.2

資料：国土交通省地価公示「土地総合情報ライブラリー」

図 I-5-9 平成 17 年度 大町地区の相続税路線価図

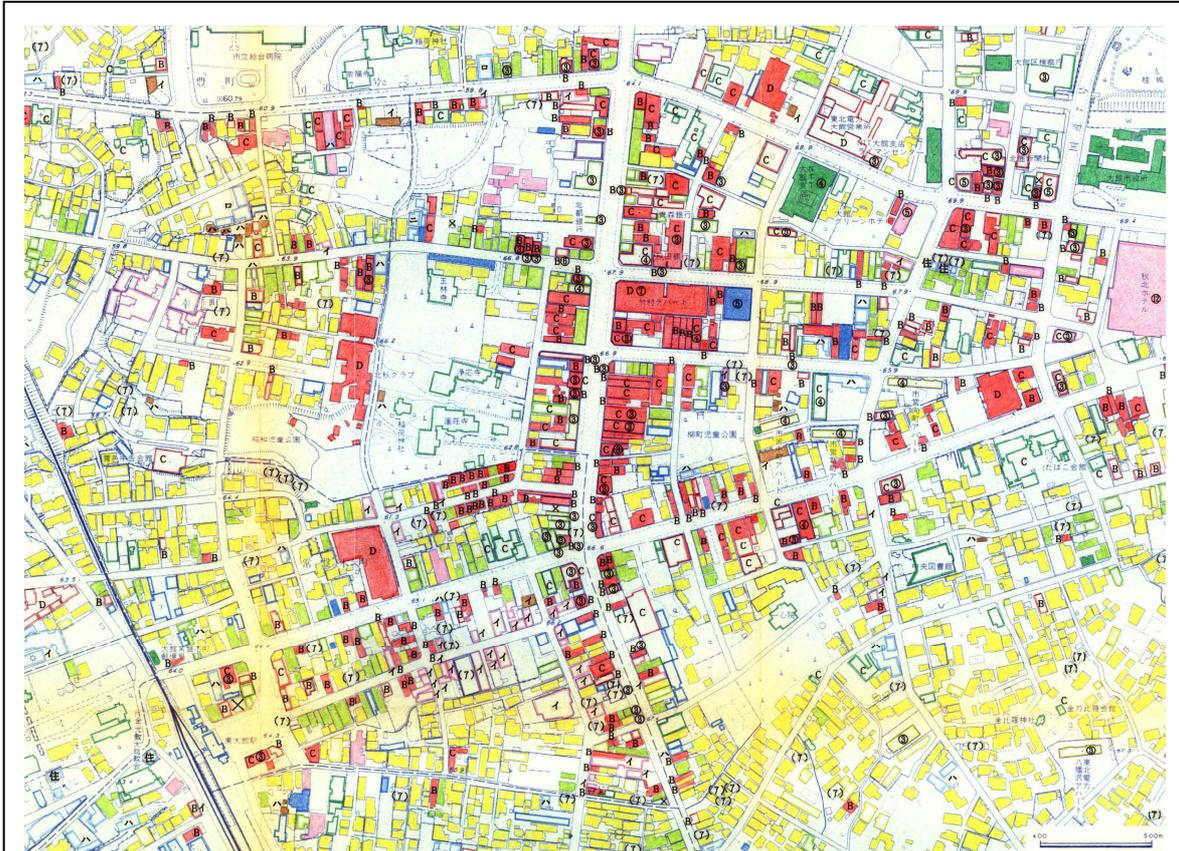


資料：国税庁HP

### ⑪調査対象地区の建物利用現況

大町商店街を中心に商業施設と寺社が集積し、東大館駅の東側は国際通りを中心にスナックやバーなどの飲み屋が連なっている。桂城公園周辺は官公庁施設と業務施設が集積している。大町地区の南側は住宅地となっている。

図 I-5-10 建物利用現況図



凡 例

用途区分	事 例	表示方法	面積と付加記号
1. 専用住宅	戸建で一般住宅(付属家含む)	黄色	
2. 共同住宅	アパート、マンション、社宅、長屋、寮	黄色わく	
3. 商業併用住宅1	1と商業施設(50㎡)との併用	黄緑	
2	2と商業施設との併用	黄緑	商業系床面積区分は5に準ずる(B・C・D記号)
4. 商業・業務併用住宅1	1と業務施設・商業施設との併用	黄緑色わく	
2	2と業務施設・商業施設との併用	黄緑色わく	商業系業務系床面積区分は5に準ずる(B・C・D記号)
5. 商業施設1	デパート、販売店、飲食店、商店	赤色	150㎡未満の建物にはB記号
2	デパート、販売店、飲食店、商店	赤色	150㎡以上500㎡未満の建物にはC記号
3	デパート、販売店、飲食店、商店	赤色	500㎡以上の建物にはD記号
6. 商業・業務施設1	事務所、会社、業務基礎の施設	赤色わく	3000㎡以上の建物にはF記号
2	5と6の複合施設	赤色わく	商業系業務系床面積区分は5に準ずる
7. 官公庁施設	国、県、市町村、官公庁	青色	
8. 文教厚生施設1	大学、専門学校、病院、体育館	緑色わく	C記号
2	小中学校、幼稚園、福祉センター	緑色わく	
9. 宿泊施設	ホテル、旅館、民宿	桃色	
10. 娯楽施設1	劇場、映画館、演奏場	桃色わく	客席200㎡以下の建物にはG記号
2	料理店、キャバレー、ナイトクラブ、バー	桃色わくい	
3	クラブ、劇場、ライブハウス	桃色わくロ	
11. 遊戯施設A	パチンコ機、ゴキブリ遊場	紫色	3000㎡以上の建物にはF記号
12. 遊戯施設B	パチンコ機、パチスロ、ゲームセンター	紫色わく	3000㎡以上の建物にはF記号
13. 工業施設A1	自動車修理工場	水色	50㎡以内の建物にはE記号
2	自動車修理工場	水色	50㎡以上150㎡未満の建物にはG記号
3	自動車修理工場	水色	150㎡以上300㎡未満の建物にはH記号
4	自動車修理工場	水色	300㎡以上の建物にはJ記号
14. 工業施設B1	重化学工業：製鉄、化学、機械	水色わくい	
2	軽工業：電子部品、生コン、石綿	水色わくロ	
3	F・P・S工業：印刷、木材、食品	水色わくハ	
4	家内工業：はたおり、24時間	水色わくニ	
5	作業所併用住宅	水色わく住	
15. 運輸・倉庫施設A	自動車庫庫(単独のもの)	青色	300㎡以内の建物にはF記号
16. 運輸・倉庫施設B	倉庫、駅舎、バス停待合室	青色わく	
17. その他1	危険物貯蔵処理施設(引火性)	茶色イ	
2	危険物貯蔵処理施設(非引火性)	茶色ロ	
3	農薬用貯蔵、畜舎、植床	茶色ハ	
4	処理場、浄水場、火葬場、発電所	茶色ニ	

## (2) 都市計画の概要

### ①用途地域及び防火地域・準防火地域

図 I-5-11 都市計画図

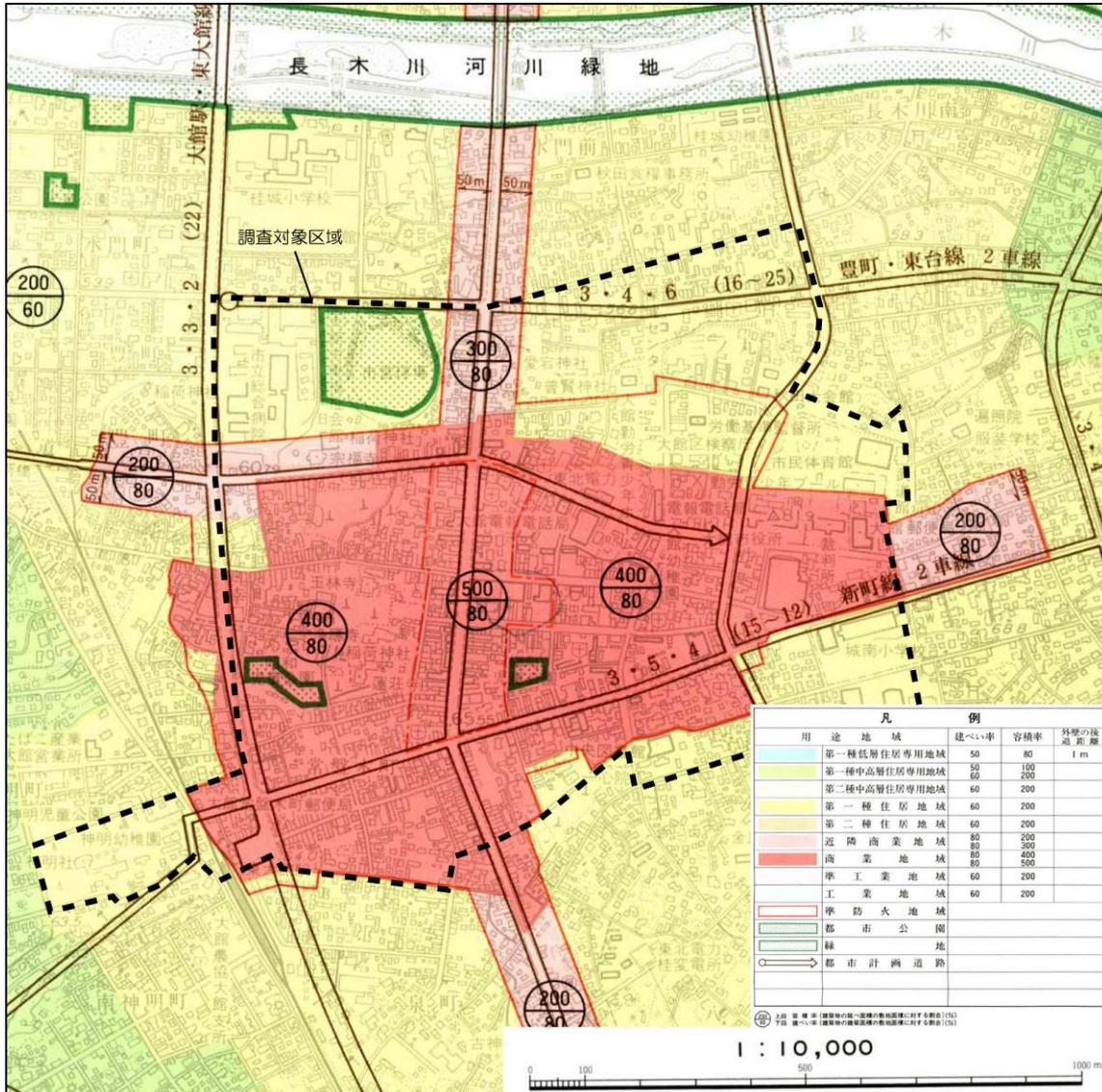
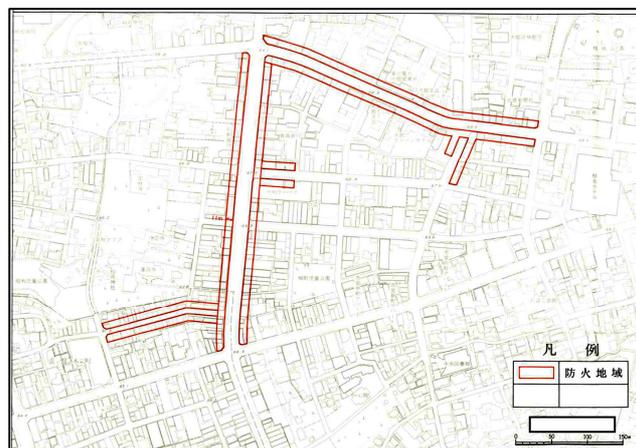


図 I-5-12 防火地域図

大館市は用途地域の指定はなされていないが、都市計画地域を定めていない非線引き都市である。そのため、郊外の無秩序な開発が行われやすい状況にある。

大町地区とその周辺は防火地域・準防火地域として定められている。



## ②都市計画道路の整備状況

旧大館市における都市計画道路は、平成16年現在25路線（総延長81,650m）が計画決定されており、整備率は53.7%となっている。

大町地区とその周辺には下表の5路線が計画決定されており、整備率は64.5%となっている。各路線の整備状況は以下のとおりである。

表 I-5-15 大町地区とその周辺の都市計画道路整備状況

名称	幅員	計画延長	整備済延長	進捗率
3・3・1 立花桂城線	16m	4,590m	2,773m	60.4%
3・3・2 大館駅東大館線	22m	3,320m	2,246m	67.7%
3・5・4 新町線	12m	3,200m	2,512m	78.5%
3・3・10 中央線	22m	4,220m	1,113m	26.4%
3・4・11 東大橋橋桁線	16m	8,100m	7,250m	89.5%

資料：秋田県の都市計画（平成16年4月1日現在）

## ③公園・緑地

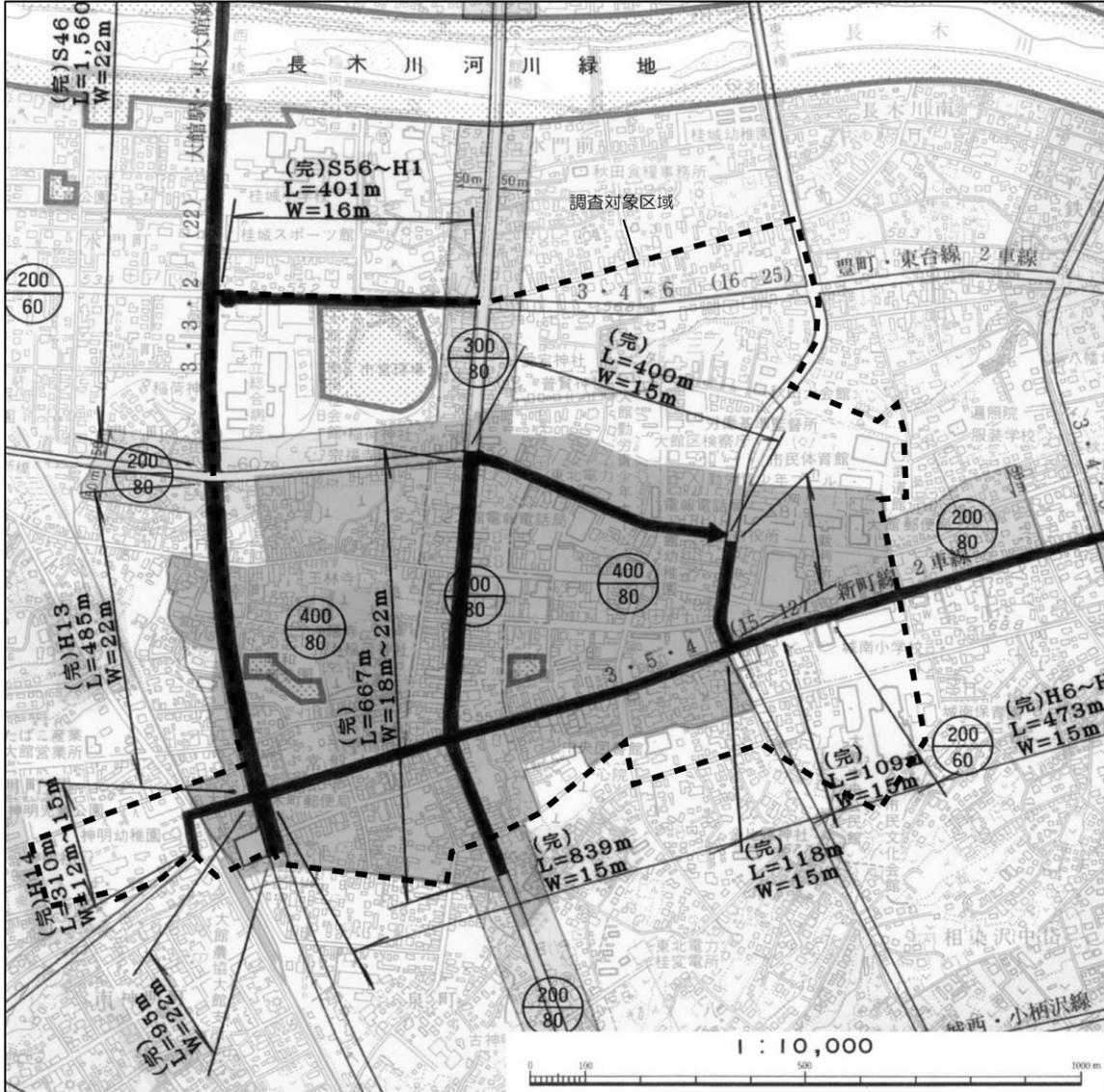
旧大館市において計画決定されている都市公園は、平成16年現在で都市計画公園23箇所、緑地1カ所、墓園2カ所となっている。各公園の整備状況は以下の通りである。街区公園17箇所はすべて整備済みとなっている。

表 I-5-16 大町地区とその周辺の都市公園整備状況

名称	種別	計画面積	整備済面積	進捗率
2・2・1 柳町児童公園	街区公園	0.29ha	0.29ha	100.0%
2・2・4 昭和児童公園	街区公園	0.60ha	0.60ha	100.0%
4 大館運動公園	運動公園	3.20ha	1.82ha	56.8%

資料：秋田県の都市計画（平成16年4月1日現在）

图 I-5-13 都市計画道路整備状況図



### (3) 既存関連計画の概要

#### ①あきた 21 総合計画 第 2 期実施計画 (2003~2005 年度)

あきた 21 総合計画第 2 期実施計画のなかで、大館・北秋田地域の地域の将来像と地域作りの基本方向として以下の事を定めている。

##### イ. 大館・北秋田地域の地域の将来像

- 固有の伝統文化、自然、食や地域が築いてきた資産が豊富で
- 整備された高速交通ネットワークをフルに生かした
- 観光産業や農林業が活発に営まれ
- 蓄積された鉱山技術を活用した新たな産業が振興し
- 地域内外の人々の遊びと交流の機会が随所に用意された
- 北東北の玄関口としての役割を積極的に担う拠点を目指す

##### ロ. 地域づくりの基本方向

- 北東北の玄関口としての交通ネットワークの整備
- 消費者・県民に安心と満足を届ける魅力ある農山村空間の構築
- 環境にやさしいまちづくりを進める「県北部エコタウン」の形成
- 地域の資源を活用した遊びと交流の場づくり

#### ②21 世紀の大館市総合計画 (2001~2010 年度)

##### イ. 関連する将来都市像と主要施策

- 生涯にわたり、多様な教育が受けられる教育文化都市
  - ・ 芸術・文化の振興：多くの市民が優れた芸術に親しみ、あるいは創作活動に参加するために、施設の整備充実をはじめとした環境づくりを推進する。また、文化財を保護・保存、継承していくとともに、積極的に公開し、市民の日常的な学習機会の提供に努める。
  - ・ コミュニティ活動の促進：市民相互の理解を深めるコミュニティ活動やより多くの市民が参加する多様なボランティア活動を促進するとともに、これらが連携した市民活動を支援する。また、活動の拠点となる施設の整備を推進する。
- 保健・医療・福祉の充実により、多様なニーズに応える総合福祉都市
  - ・ 保健・医療・福祉の連携：高齢者などの多様なニーズに応えるため、介護保険制度を含めた保健・医療・福祉の連携を図り、情報の共有によるトータルケアシステムを推進し、ネットワークの整備・充実を図る。
  - ・ 福祉の充実：市民がその能力を生かして、社会活動に参加でき、かつ、生きがいを持って生活できるような社会づくりに努める。また、障害者・低所得者に対する支援と自立の促進を図る。さらに、福祉ボランティア活動を促進

し、社会福祉団体と連携した地域福祉活動を推進する。

- ・ 高齢社会の充実：高齢者が心身ともに健康で、生きがいを持って生活できるよう、自発的に参加できる学習機会の拡大と、各種地域活動への積極的な参加を促進する。また、在宅福祉の充実と居住環境や福祉施設のバリアフリー化に努める。
- ・ 少子化社会・子育て支援の充実：少子化が進む中、就業形態の変化に伴い多様化する保育需要に対応し、働く人にやさしい保育・相談体制の整備充実に努める。また、子育てにおける男性の積極的な参加を促進する。

#### ○新しい産業を核とし、雇用の確保と市民所得の増大を図る活力ある産業

- ・ 中心市街地活性化事業・商業の振興：「来てみたい街、歩きたい街、住んでみたい街」をキャッチフレーズに、中心市街地活性化事業を促進する。また、都市機能の高次化を進め、まちのバリアフリー化、商店街の組織化支援など商業環境の整備に努める。
- ・ 観光・物産の振興：観光ニーズの多様化に対応したイベントの充実や、高速交通体系を生かした広域観光ルートの設定と広域連携による観光キャンペーンを促進する。また、参加型観光イベントや首都圏をはじめとする全国イベントへの物産出展などにより、地場製品のPRに努め、販路の拡大を図る。

#### ○環境に配慮した、美しく住みよい環境都市

- ・ 市街地整備の促進：米代川流域の中心都市として、魅力ある市街地形成を目指す。
- ・ 住環境の整備：生活水準向上に伴う住環境ニーズに対応した市営住宅の整備を促進する。また、公園などの拡充を通して街の緑化を推進する。
- ・ 道路・河川・情報通信の整備：日本海沿岸東北自動車道などの建設や生活道路の整備を促進する。また、公共交通機関の利用促進、利便性の向上に努める。高度な情報技術を生かした情報通信ネットワークの整備を促進する。
- ・ 地域防災・安全の充実：市民の生命と財産を守り、より安全な生活を確保するため、防火・防災・防犯対策の充実強化を図るとともに、災害に即応した情報ネットワーク化や災害ボランティア組織の育成を図る。また、交通環境が大きく変化している中、高齢者や児童、障害者などの交通弱者の安全に配慮した歩道のバリアフリー化や交通安全施設の整備を図る。

### ③大館市都市計画マスタープラン（平成7年度策定）

大館市都市計画マスタープランについて大町地区とその周辺に関連する施策を以下に抜粋する。

#### イ. 計画期間

平成7年度～平成17年度

#### ロ. 計画のテーマ

「生涯、住んで暮らしていける都市の形成に向けて一生活しがいのある都市づくり」

#### ハ. 土地利用計画

##### ○基本方針

- ・ 土地利用転換の適正化：中心市街地においては、周辺の自然環境、農林業的土地利用との調和を図るべく、都市的土地利用をコンパクト（まとまりのある）形で推進する。
- ・ 土地利用の有効活用：中心市街地においては、市街地の再開発事業等を促進しながら、防災性の向上とゆとりある生活環境を確保していく。

##### ○具体的施策

- ・ 中心市街地の適正利用の促進：駅前から大町地区に至る南北軸、および大町地区から国道7号に沿って大館西道路の南I.C.周辺に至る東西軸については、積極的に商業系の土地利用を促進し、その高度利用を期待していく。
- ・ 商業核の形成：中心市街地の活性化と新しい商業集積の形成及びそれらの共存を目的として、それぞれの土地の適正活用・高度利用を通じた計画的な「商業核」の形成により、相互の競合関係の中で大館市全体の商業の自立を図っていく。
- ・ 文化財・名勝・史跡の継承の促進：美しい自然環境及び歴史的風土を育んできた貴重な自然を守り、保全するとともに、都市づくりの視点で活用すべき大館固有の各種文化財・名勝・史跡等についても、周辺地域を含める形で積極的に後世に引き継いでいくべく、その周辺地域を含めた保全を促進する。

#### 二. 交通整備計画

##### ○基本方針

- ・ 広域幹線道路の整備推進：市域内と広域都市間との容易なアクセス（接近性）の確保を目指して、通過交通の排除、および目的交通の喚起を促進する良好な交流交通体系整備を推進する。
- ・ 市域内道路の充実：市域内移動に対する容易なアクセス（接近性）の確保、および災害対策を目的として、都市計画道路の事業化を推進する。
- ・ 人間本位の交通環境づくりの推進：高齢者、障害者あるいは幼児などをも含めた、市民の誰もが安心して移動できるような、人間性を重視した交通環

境づくりを積極的に推進していく。この際、特に冬場における積雪・凍結といった状況を十分に認識し、それらへの対応を前提としていく。

○具体的施策

- ・ 大館環状道路の形成：①市内中心部を通過する車輛流入の排除、②市内外からの中心市街地への円滑なアクセス（接近性）の確保、③中心市街地内の移動性の向上を目的として、中心市街地をとりまく形で「外環状道路」、および中心市街地内における「内環状道路」の形成を積極的に図る。

## ホ. 行政関連及びコミュニティ施設整備計画

○基本方針

- ・ 市民生活の活動舞台となる施設の整備推進
- ・ 流動化・情報受発信基地となる施設の整備推進
- ・ トータルケアを実現する施策の整備推進
- ・ 市民生活の憩い・安全の場となる施設の整備推進

○具体的施策

- ・ 新しいにぎわい拠点となるシビックセンターの形成：市庁舎の建て替え計画の検討。
- ・ 教育文化関連施設の整備推進：観光物産施設の整備推進。
- ・ 福祉関連施設の整備推進：“トータルケア”の実現による「誰もが、老いても健康で安心して暮らせる地域社会づくり」を目指して、既存機能の継続的な拡充という形で施策を推進していく。福祉関連施設の整備・運営にあたっては、秋田桂城大学との積極的な連携を前提として考えていく。

## へ. 住・生活環境整備計画

○基本方針

- ・ 質の劣る生活環境の改善：既成市街地において、安全性、防災性、快適性、利便性の確保・充実を目的とした、狭隘道路、未舗装道路の改善、あるいは建物の不燃化、立地的な問題や地形的な問題への対応といった、質的な面で劣る生活環境の改善を積極的に推進していく。
- ・ 公的住宅の積極的供給：高齢化の急激な進行に加え、個々の市民の、あるいは家族毎のライフスタイル（生活に対する価値観）の多様化といった、社会的要因を背景としながら、それらへの積極的な対応を目的とする公共住宅を適正立地・規模・水準で供給していく。この際、特に大館固有の風土に基づく「木の文化」「雪の文化」を積極的に理解し、これらをテーマとした住宅供給をモデル的に行っていく。

○具体的施策

- ・ 住環境重点整備区域の整備推進：中心市街地において劣悪な住環境を引き起こす要素（行き止まり道路、狭隘道路、未舗装道路、側溝の未整備、老朽

化した木造家屋およびその密集等)を認識し、それらの改善を通じて良好な住環境を確保していくことが必要である。

- ・ 新規性をもった住宅供給の推進：これまで市民の住・生活環境整備の一環として公営住宅の供給が行われてきたところであるが、それらの施設の老朽化、狭隘化も顕著にみられることから、今後は、入居者の特性あるいはライフスタイル（生活に対する価値観）に応じた、魅力ある住宅の建て替えを積極的に推進していく。
- ・ 高齢者対応住宅の整備の推進：①持家高齢者の住宅改善への支援、②公営住宅における高齢者対応型住宅の設置、③各地区での高齢者関連福祉施設の配置。
- ・ 克雪・利雪住環境の整備推進：中心市街地内での雪対策については、賑わいの確保や潤い、やすらぎのある住環境の実現、あるいは雪のない季節における街としての機能性、景観的美しさの確保という視点を持ちながら、効果的な機能での施設及びオープンスペースの配置を促進していく。

## ト. 景観形成計画

### ○基本方針

- ・ 固有の風土を視覚面で協調・表現する
- ・ 市民の意見の積極的な導入で推進する
- ・ 専門的なデザイン技術の導入を図る

### ○具体的施策

・ 重点地区での整備推進：大館における質の高い景観形成の先導を目的として、特に既成市街地を対象に、景観整備に関する重点地区を設定し、その整備を積極的に推進していく。重点地区においては、幹線道路を利用して、特に中心市街地へ入ってくる際の外環状道路及び内環状道路とそれぞれ交差する部分を、中心市街地の「ゲート空間」として位置づけ、これらを次のような空間要素によりゲート性を演出していく。①建物によるゲート性の演出、②シンボルツリー（象徴的な木）によるゲート性の演出、③辻広場によるゲート性の演出。

## ④秋田県の消費購買動向

「消費購買動向調査」事業は、秋田県、秋田県商工会連合会、秋田県商工会議所連合会が『消費購買動向調査事業運営協議会』を組織のうえ、三年毎に実施しているものである。平成17年1月に発表された結果では、最寄品、買回品の地元購買率が低下しており、他市へ買い物に出かける割合の上昇と共に、大型店で買い物する傾向が高いことがわかる。日々の買い物である食料品などの最寄品を大型店で購入する割合は77.5%と8割近くで、前回調査より5.4ポイント上昇している。消費者は品揃えの豊富さと駐車場の利便性等から「大型店

志向」と「既存店舗形態（一般商店・農協・生協等）」離れが進んでいる。

#### イ. 最寄品の地元購買率

93.3%で秋田市、能代市に次ぎ第3位。3年前調査の-1.6ポイントとなっている。食料品 93.6%（前回調査比-2.4ポイント）、日用品 93.9%（同-1.4ポイント）となっている。

#### ロ. 買回品の地元購買率

86.9%で秋田市に次ぎ第2位。3年前調査の-2.8ポイントとなっている。文化品 93.0%（前回調査比-1.0ポイント）、身回品 84.9%（同-4.2ポイント）、衣料品 82.8%（同-2.9ポイント）、贈答品 88.7%（同-4.0ポイント）となっている。

#### ハ. 主な流出先

- 最寄品：弘前市（2.6%）、秋田市（0.3%）
- 買回品：弘前市（8.6%）、秋田市（1.3%）、盛岡市（0.2%）

#### ニ. 主な流入先

- 最寄品：花矢（87.0%）、田代町（83.6%）、比内町（61.9%）、鷹巣町（35.7%）、阿仁町（33.6%）、小坂町（27.3%）、森吉町（25.0%）、合川町（20.7%）、十和田（15.2%）、上小阿仁村（8.8%）、鹿角市（7.4%）、藤里町（5.0%）、二ッ井町（1.8%）、能代市（0.1%）
- 買回品：田代町（89.9%）、花矢（83.5%）、比内町（76.3%）、鷹巣町（57.2%）、小坂町（52.6%）、森吉町（50.0%）、阿仁町（48.2%）、合川町（35.2%）、十和田（33.1%）、上小阿仁村（21.0%）、鹿角市（16.0%）、藤里町（8.3%）、二ッ井町（4.2%）、能代市（0.6%）

#### ホ. 店舗形態別購入割合の状況

- 最寄品：大型店（77.5%）、専門店（6.9%）、一般商店（6.5%）、通信販売（2.2%）、生協（2.0%）、コンビニエンスストア（1.9%）、農協（1.4%）、小売市場・市日（1.3%）、移動販売（0.2%）
- 買回品：大型店（60.0%）、専門店（32.3%）、通信販売（3.3%）、一般商店（3.2%）、コンビニエンスストア（0.4%）、生協（0.2%）、小売市場・市日（0.2%）、移動販売（0.2%）、農協（0.1%）

### ⑤大館市中心市街地活性化基本計画（平成12年1月策定）

#### イ. 計画期間

概ね5年以内の事業について定める

#### ロ. 中心市街地活性化の基本方針

地域の顔として暮らしと観光の拠点づくり

#### ハ. 活性化のキャッチフレーズ

「来てみたい街、歩きたい街、住んでみたい街」

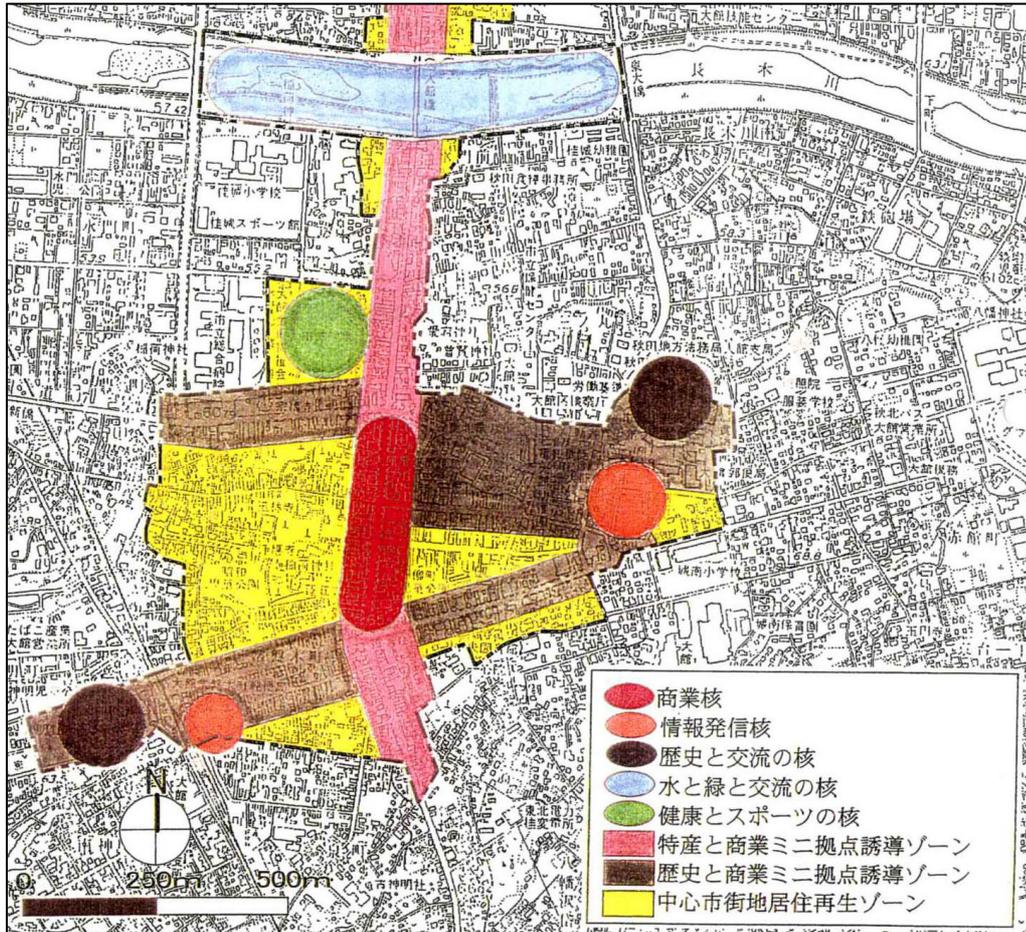
## 二. 中心市街地活性化の目標

- 魅力的で輝く個店が集積する街を目指す
- 人々が立ち寄りやすい街を目指す
- 市民の憩いと交流の場となる街を目指す
- 人々が暮らす街を目指す
- お年寄りが安心して暮らせる街を目指す
- 若者が魅力を感じる街を目指す
- 観光客をひきつける個性を持った街を目指す

## ホ. 中心市街地の骨格形成

- 《商業核》商業核は、大町、御成町、朝市周辺の各既存の商業地とする。商業核は、既存機能の維持、育成を図りつつ中心市街地活性化の先導的役割を担う。
- 《情報発信核》情報発信核は、バスターミナルと市役所周辺、大館駅前、東大館駅前とする。情報発信核は、大館市を訪れる人々に市を紹介するメッセージエリアとするとともに人々の交流空間としての役割を担う。
- 《歴史と交流の核》歴史と交流の核は、大館城址、神明社とする。歴史と交流の核は、歴史と人々の交流空間としての役割を担う。
- 《特産と商業ミニ拠点誘導ゾーン》特産と商業ミニ拠点誘導ゾーンは、大館駅から大町に至る都市計画道路大館駅線、中央線沿道とする。このゾーンは、各商業核、情報発信核等を結ぶ軸であるが、衰退の著しい場所であるため、ハチ公や地場産品等を活用した街並み形成、駐車スペースを有する商業ミニ拠点等の誘導を図り、商業地の連続性を確保する。
- 《歴史と商業ミニ拠点誘導ゾーン》歴史と商業ミニ拠点誘導ゾーンは、市役所と都市計画道路中央線、神明社等を結ぶ都市計画道路立花・桂城線、新町線沿道とする。このゾーンは、歴史と交流の核、商業核、情報発信核等を結ぶ軸であるため、歴史を活かした街並みを形成、駐車スペースを有する商業ミニ拠点等の誘導を図り、商業地の連続性を確保する。
- 《中心市街地居住再生ゾーン》中心市街地居住再生ゾーンは、現在住宅が主体の中心市街地とする。このゾーンは、前述の特産と商業ミニ拠点誘導ゾーン、歴史と商業ミニ拠点誘導ゾーンと一体となって、中心市街地の利便性を活かし、居住空間としての機能を目指す。

図 I-5-14 中心市街地の骨格形成



資料：「大館市中心市街地活性化基本計画」平成 12 年 1 月

## ⑥大館市住宅マスタープラン

### イ. 基本理念

「活」、「育」、「創」美しく住みよい大館の家づくり

### ロ. 基本目標

- 多様化する市民ニーズに対応した良質な住まいづくり
- 子供からお年寄りまで安全・安心・快適に暮らせる住まいづくり
- 大館の風土を活かした新たな発想、創意工夫による住まいづくり

### ハ. 大館らしい独自性のある新たな市営住宅づくりの推進

- 市営住宅の統合化による建て替えの検討
- 多様化するニーズに対応した市営住宅の整備
- 保健・医療・福祉機能との連携と複合化
- PFI方式による市営住宅の整備の検討
- 市民と行政との協働による市営住宅づくり